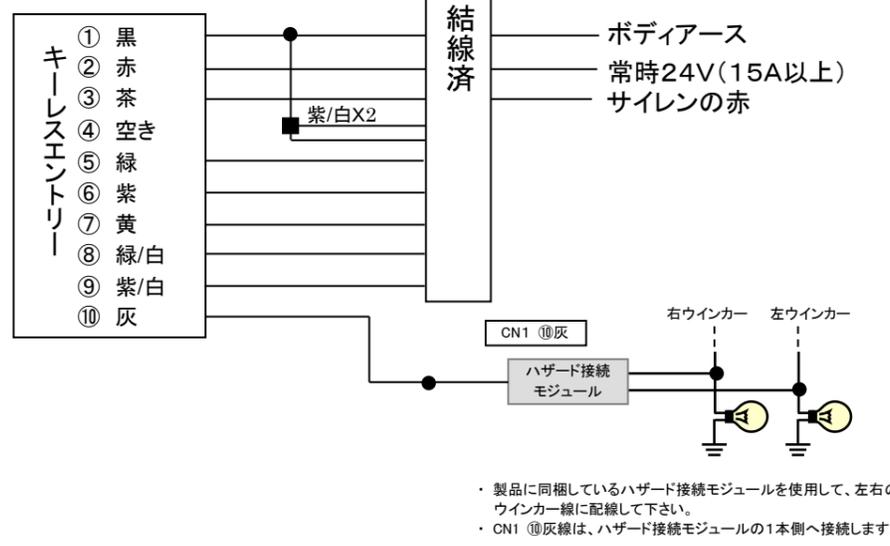
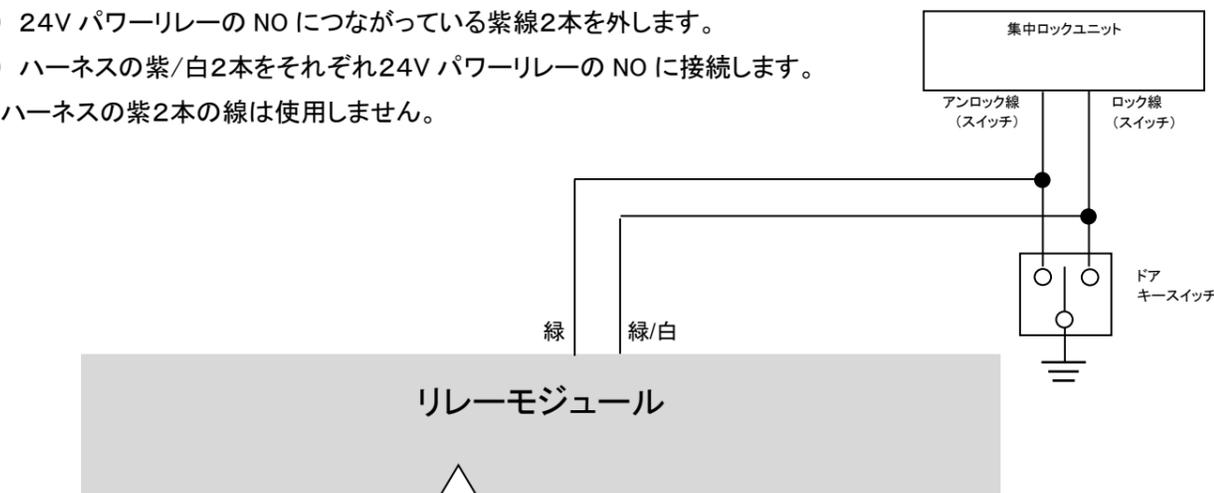


**【!! 注意 重要!!】**

ロック・アンロックを短時間(10秒以内)に繰り返し(往復2回以上)行うとリレーが溶着するおそれがあります。上記の原因で製品が故障した場合は保証対象外になります。また、ロックピンの動作が渋い車両については、グリスアップ等を行い、負荷を軽減して下さい。そのまま取付した場合、リレーが溶着するおそれがあります。この場合、保証対象外になります。

**1. Aタイプ (各ドアにドアロックモーターが付いているマイナスコントロールの車両の場合)**  
例:ランクル70集中ロック付き車、コースター

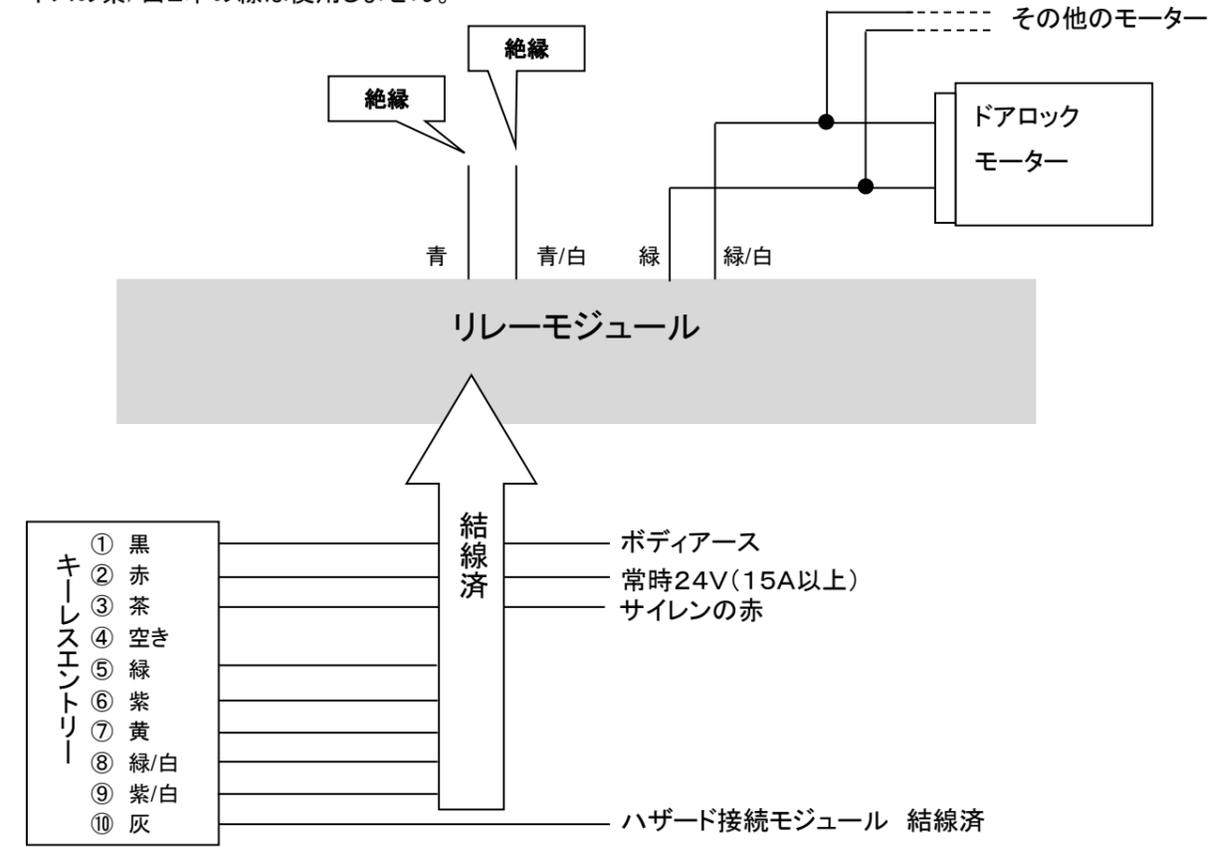
- (1) 24V パワーリレーの NO につながっている紫線2本を外します。
  - (2) ハーネスの紫/白2本をそれぞれ24V パワーリレーの NO に接続します。
- ※ ハーネスの紫2本の線は使用しません。



・製品に同梱しているハザード接続モジュールを使用して、左右のウインカー線に配線して下さい。  
・CN1 ⑩灰線は、ハザード接続モジュールの1本側へ接続します。

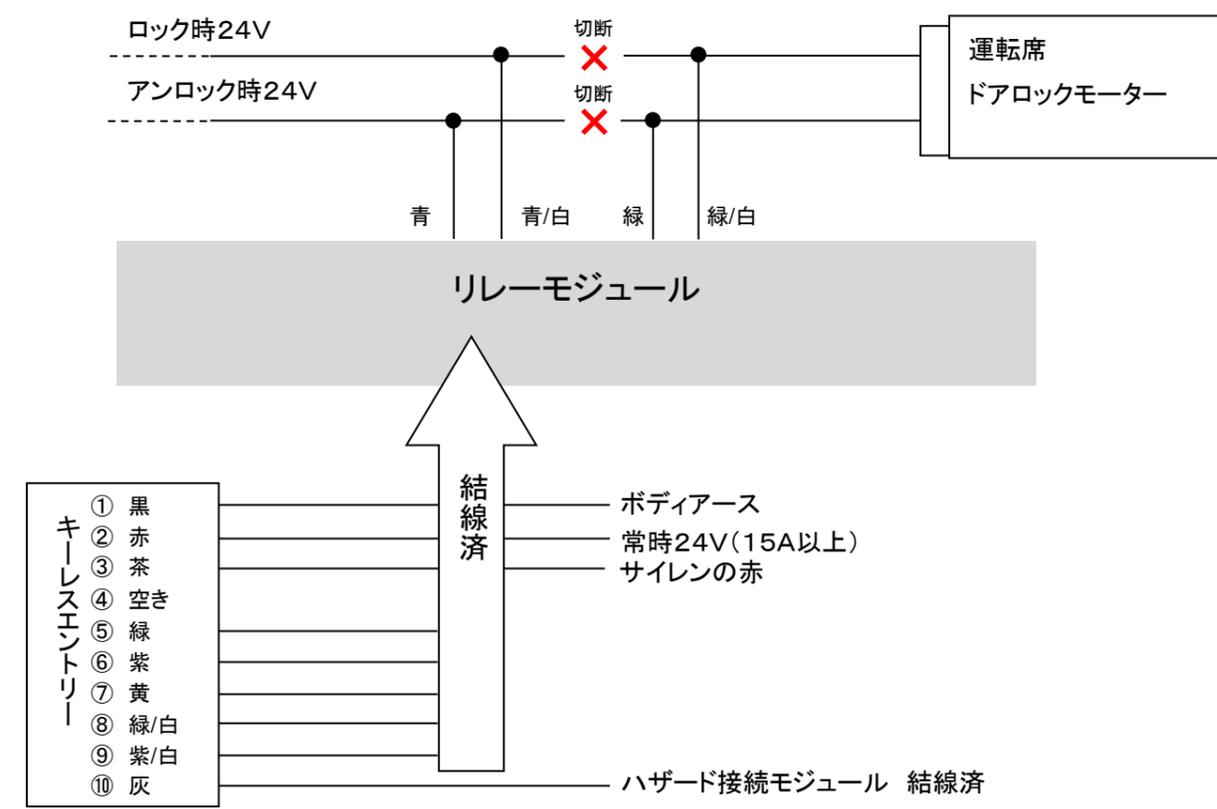
**2. Bタイプ (運転席ドアやその他のドアにモーターが付いていない(モーターを後付けする)場合)**

※ ハーネスの紫/白2本の線は使用しません。



**3. Cタイプ (各ドアにドアロックモーターが付いている車両の場合)**

※ ハーネスの紫/白2本の線は使用しません。



※ ランクル60(集中ロック付き)の場合(適合不可に付き参考)

信号名	車両接続先	
常時電源	ハンドルコラム内イグニッションスイッチ裏	黒
アース	ハンドルコラム内ライトスイッチ裏	白/黒
右ウインカー	助手席グローブボックス裏左上 右ターンシグナルリレー	緑/黄
左ウインカー	助手席グローブボックス裏左上 左ターンシグナルリレー	緑/黒
ロック	運転席ドア内集中ロックスイッチ裏	青/白
アンロック		青/赤

※ 年式によっては線色等が異なる場合もございます。必ずテスターで確認し、接続を行って下さい。

## ■ 配線検査

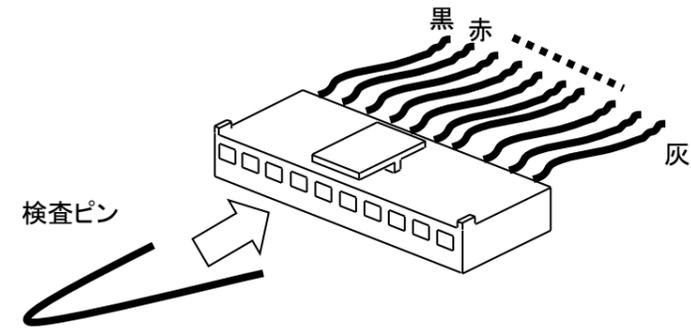
配線完了後、リモコン受信機を接続する前に次の手順で配線を確認して下さい。**必ず全ての手順を確認して下さい。**

### Aタイプ配線検査手順

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑/白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑/白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑/白と紫/白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫/白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。 (やけど注意!)	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等

### B・Cタイプ配線検査手順

	検査方法	正常	異常	異常の場合の不良原因
1	緑/白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	リレーモジュールが動作しない。	赤線または黒線の結線不良。
			ロックしない。	車両に接続している 緑/白線または緑線の結線不良。
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	アンロックしない。	車両に接続している 緑/白線または緑線の結線不良。
3	運転席の集中ロックスイッチでロックする。 (Cタイプのみ)	ロック	リレーモジュールが動作しない。	青/白線の結線不良。
4	運転席の集中ロックスイッチでアンロックする。 (Cタイプのみ)	アンロック	リレーモジュールが動作しない。	青線の結線不良。
5	リモコン受信機を接続し、 リモコンで動作させる。	ロック アンロック	動作しない。	リモコンの電池が消耗している。 リモコンが受信機に登録されていない。



- ※ 上記以外の挿し込みは破損の元になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
- ※ 配線検査で1から5番まで問題がないのに本体が反応しない場合は、取扱説明書に記載しているリモコンの電池交換とセットアップを行って下さい。
- ※ 本体は、両面テープなどで固定して下さい。キックパネル内など、見えない場所でもかまいません。(アンテナは感度に応じて伸ばして下さい。)
- ※ 本体はドアの中には設置しないようにして下さい。水濡れや振動で故障の原因になります。

#### 【感度について】

本体から出ている黒い線がアンテナです。感度が悪い場合、この線をまっすぐに伸ばして下さい。また、本体を水平設置や垂直設置に変えると感度が良くなる場合があります。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにして下さい。もし、現状の感度でご満足いただけない場合は、感度調整方法を資料閲覧ページで公開しておりますので試して下さい。(この調整を行った場合は、当社の保証対象外となります。)